

土砂災害について

中郷中学校

三年

中島

崇稀

みなさんは、土砂災害に巻き込まれたことはありますか。僕は、家の周りが山に囲まれており、土砂崩れや木が倒れているのを目にしたことがたくさんあります。また、私たちが住んでいる宮崎県は土砂災害発生件数が全国で三位という警戒しなければいけない場所です。土砂災害はがけ崩れ、土石流、地すべりなどの種類があります。土砂災害のきっか

けは主に大雨や地震で谷や斜面にたまった土砂が雨による水と一気に流れ出して起こる災害です。その災害によって命を落としてしまった人がたくさんいます。僕は小学五年生の頃、家族で誕生日祝いとしてキャンプ場に行きました。そこは、自然に包まれていてホッと一件家のような感覚でした。近くには川もあったので入って水遊びをしました。夕方にはBBQをして家族の団欒をして楽しみました。夜になると豪雨に

なり、大雨警報もなあって明日には止んでるだろうと単純な気で済ましていました。その時、土や石が転がってくる音が聞こえたので外を見てみると山からたくさん土石が流れてきて川の氾濫もひどくなっていました。車からの距離は二〇〇メートルくらいあり走って行くにはとてむりスクのあることでした。でも行かないのも危ないので走った瞬間、目の前で走っていたお姉ちゃんの足首に五重口ぐらいの石が飛んできました。血も出てきていて見たくもありませんでした。痛くても車がゴールだと思って走るお姉ちゃんの姿がカッコよかったです。その後、車に乗って速攻で家に帰りました。大きな木が道路の真ん中に倒れていて道が遮られていた所も見かけました。最初は、せっかくの誕生日なのに悪いことが起きたと思っていました。でも今は、誕生日だからこの災害から生き逃れることができたと考えようになっています。この大きな出来事から土砂災害にいつでも警戒心が持てるよ

うになりました。そこから僕は土砂災害を防ぐためにどのような対策をとっているのか気になって調べて見ました。土砂崩れの対策としては高低差のある土地の斜面が崩れないように斜面を安定させるための擁壁工事をしていきます。土石流の対策では砂防堰堤を設置することです。土砂の流れにしています。土砂災害の避難の対策としては各地でハザードマップが作られており、避難場所や避難経路を知ることができます。土砂災害はいつ、どこで、どんな風に起こるのか分からないので頭の隅に入れたいと思うました。最近では日南を震源とする最大震度6弱を観測する地震がありました。この地震について南海トラフが襲ってくるという話まで進化していき、人々の不安が高まった一週間でした。東日本大震災や関東大震災など多くの人々の命を落とす地震もありました。また、その地震で友人、家族を亡くしてしまった人など人それぞれ立場があります。僕はこのような

悲しい思いをしてほしくないと、思って二つの自分にできることを考えました。

一つめは、実際に自分の体験を人に話すこととです。友人に話をする、ことで相手も意識して土砂災害の危険さを知ってもらうことができずからです。友人が土砂災害に巻き込まれたときに自分の話を思い出し、してくれるとうれしいです。

二つめは、土砂災害のポスターをつくることです。人はあまり災害を気にしていない人が多いと思うので、呼びかけをして自分の命を大切に、してほしいと思っただけです。人々が意識すれば、死者や行方不明者は格段に減ると思います。これから、大きな災害が来ることは間違いないので、次の世代にも受け継いでほしいです。

僕は、最初土砂災害をあまくみていて警戒して、いなかったことを深く後悔しています。

お姉ちゃんみたいな怪我人を出さないように、土砂災害には気をつけて、これから過ごしてい

き
ま
す。